耕・結・愛

KOU YUI AI

第23号
高畠町立高畠中学校
PTA 文化広報部
印刷：㈲寄清堂印刷
TEL.0238-52-0005

「みんなで創り上げた体育祭」

体育祭実行委員長
小林　恒平

今年度の体育祭スローガン「戮力協心」とは「心を一つにして、力を合わせること」という意味の言葉です。コロナ禍の制限が緩和され、全員が声を出せる応援合戦が復活し、新しい競技が増えるなど、コロナ禍前に戻ったような、それでも私たちにとっては新しいことばかりの体育祭となりました。経験したことがないものを成功させるには正に、「戮力協心」が大切だと思います。三年生が引っ張るだけでなく、一・二年生がついてきて、押し上げてくれる、そんな光景が練習の時から見られました。きっと、体育祭本番では一人一人がそれまでの努力を胸に戦い、熱く盛り上がった体育祭になったはずです。

「真・体育祭」

校長
完戸　陽介

こんな話を耳にしたことがあります。「人間は通常、本来持っている力の二割程度しか発揮せずに生きている」そのとき私は『火事場の馬鹿力』という言葉と結びつき、妙に納得しました。火事場の馬鹿力とは、人は極限状態に追い込まれたときに、想像を超える力を無意識の内に発揮するというたとえ。体育祭はまさにその場面。競技でも応援でも目標はただひとつ、自軍の優勝。四年ぶりに解禁された声出し応援により、緊張感も一層高まったのではないでしょうか。その極限状態の中でみなさんは、その「隠れた力」を存分に発揮していましたね。この人アイディアマンだな…とか、走るのこんなに速かったんだ…とか、こんな大きな声出すんだ…とか、指示を出すのがうまい人だな…とか。みなさんも互いの「隠れた力」を感じた瞬間がきっとあったのではないでしょうか。だから体育祭はおもしろい、だから体育祭はすばらしい。今年はじめてクラス毎に臨んだ三年生。コロナ前の、そして真の体育祭を創ってくれたみなさんに、天晴！

高畠中学校体育祭 組頭インタビュー

黄軍組頭
鈴木　聖波

黄軍スローガン「雷獣」を目標に、元気に楽しい軍を作れたと思います。練習も少なく、短い期間の中、振り付けを覚えるのも協力するのも大変だったと思います。ですがW準優勝といういい結果を残すことができ、「勝負はいつも紙一重」を合言葉にいい勝負ができました。軍全員が元気で仲が良く、強い人たちが集まりました。この黄軍で得た経験を忘れることはありません。

青軍組頭
渡部　花音

限られた時間の中ではありましたが、青軍のみんなと過ごした時間はとても充実したものでした。振りを教えることには苦戦しましたが、一生懸命指示を聞いてくれて理解しようと努めてくれた青軍のみんなには感謝しています。応援団結賞を狙って練習に取り組んでいたので、第三位は悔しい結果でしたが、青軍のみんなと青瞬を感じ笑顔で終えることができてよかったです。ありがとうございました。

赤軍組頭
金子　麗矢

応援団結賞

今年の体育祭は、応援合戦の時間が長くなり、全校生が声を出せるようになりました。そのため、応援の歌詞や振り付けを考えることがとても難しかったです。体育祭当日は、スローガン「気炎万丈」のもと、どの軍よりも先に大きな声を出し、他軍を圧倒することができました。その結果、応援団結賞を獲ることができました。最後は、みんな「笑顔」で終わることができてよかったです。赤軍最高!!

白軍組頭
平吹　美羽

競技優勝

体育祭を振り返ってみると、競技優勝をするまでの日々は不安と緊張でいっぱいでした。しかし、先生や幹部のみんなと練習を重ねていくうちに軍全体だけでなく、私自身も成長できました。白軍のスローガン「獅子奮迅」を掲げ、努力した結果が良い方向につながったと思います。白軍で本当に良かったです。ありがとうございました。組頭として学んだことは今後に生かしていきます。

緑軍組頭
青野　由弥

緑軍のスローガン「Green Peace」のもと、緑軍らしく楽しく元気に活動することを目標に取り組みました。最初の頃は、自分が組頭をやっていけるか不安でしたが、緑軍幹部や緑軍全員と応援や競技練習を重ねるうちに、その不安もなくなりました。本番の応援合戦では、ハプニングがありましたが、無事にまとまってよかったです。最後はみんなが笑顔で体育祭を終われて最高でした。

紫軍組頭
山木　藍人

限られた短い期間の中で、応援練習や競技練習をすることはとても大変でしたが、幹部を中心に放課後の応援練習や昼休みに集まるなどして体育祭を成功させることができました。紫軍は「千紫万光」を掲げて、まとまりのある軍にすることができました。しかし賞を獲れず悔しかったです。来年、一年生は後輩の手本に、二年生は自分たちがリーダーになるという自覚をもって頑張ってください。

讃えて定期演奏会

野球部

全試合苦しい展開ながらも、自分たちのすべきことをした結果、南ブロック大会に進むことができました。記録に残らないような細かいところまで気を配り、日ごろの練習から常に高みを目指します。

部　長　今井　彪翔

男子バスケットボール部

新人戦では、良いプレーがたくさんありましたが、ディフェンスやオフェンスの時の攻め方などの課題も見つかりました。今後は練習を頑張り、次回は優勝を目指します。

部　長　髙梨　斗真

女子バスケットボール部

練習の成果を発揮できなくて悔しい結果になりましたが、辛いときでも声をかけあって１勝することができました。地区総体ではリバウンドとディフェンスを頑張ります。

部　長　有坂　叶夢

ソフトボール部

新人戦では仲間とともに精一杯頑張りましたが、県大会出場はなりませんでした。守備時のエラーや声出しがまだまだな点など、多くの課題が出たので練習から頑張っていきます。

部　長　古藤　陽菜

男子卓球部

新チームでの最初の大会、目標としていた団体優勝をすることができました。また、個人戦ではベスト４の中に３人がランクインしました。来年は県で勝てるチームを目標に頑張ります。

部　長　髙橋　一平

女子卓球部

個人戦では高中で県大会出場枠を独占することができました。また、団体戦では優勝し、県大会・その上の決勝大会まで行くことができました。今後もチーム一丸となって頑張ります。

部　長　菅野　天虹

剣道部

新人チームで初めての公式戦でした。男子団体、男女個人で優勝できましたが、味方が試合をしているときの応援の声が少なかったので、次の大会では決勝戦並みの気迫を出せるよう頑張っていきます。

部　長　我妻　洸

東置賜地区中学校新人体育大会結果

【団体】

1位　野球【南B出場】
　　ソフトテニス女子【南B出場】
　　バレーボール女子【南B出場】
　　卓球男子【南B出場】
　　卓球女子【南B出場】
　　剣道男子【南B出場】
　　バスケットボール男子【南B出場】
　　バレーボール男子【南B出場】
　　柔道男子【南B出場】
　　柔道女子【南B出場】
2位　ホッケー
　　ソフトボール
　　ソフトテニス男子
3位

【個人】

ソフトテニス女子
2位　梅津 由・草野 優
3位　神野らいら・赤木 希花
　　鈴木さくら・吉田 侑生

ソフトテニス男子
3位　平 悠生・中川 颯

剣道男子
1位　近野 紬【南B出場】
　　鈴木 雄也【南B出場】
2位

剣道女子
1位　安部明日香【南B出場】

柔道男子
1位　50kg級 大浦 旬朔【南B出場】
　　55kg級 板垣 宙伸【南B出場】
2位　60kg級 坂野 颯人【南B出場】
　　73kg級 栗田 爽矢【南B出場】
3位　50kg級 我妻 珀羽
　　55kg級 戸田 一誠

4×100Mリレー
7位　高畠B
　　小浅 大翔・大浦 朱日
　　遠藤 翔太・遠藤 大成

200M
7位　大浦 朱日

800M
7位　中川 大志

1500M
8位　後藤 恭明

110Mハードル
8位　藤巻 颯斗

陸上女子

走幅跳
1位　村上 菜梛

一年100M
2位　黒田 里桜

4×100Mリレー
2位　高畠A
　　松田 咲希・黒田 里桜
　　佐藤 樹奈・村上 菜梛

一年100M
3位　松田 咲希

二年100M
3位　村上 菜梛

200M
3位　黒田 里桜

砲丸投
4位　草名木円佳

800M
4位　四柳 柚乃

100Mハードル
4位　佐藤 樹奈

1500M
5位　四柳 柚乃

100Mハードル
5位　松田 咲希

800M
6位　鈴木 望桜

1500M
6位　鈴木 望桜

走高跳
7位　髙橋 彩笑

100M
7位　佐藤 樹奈

800M
7位　大浦 琉花

1500M
7位　大浦 結愛

バドミントン男子シングルス
1位　増田 湊都【統一大会出場】
2位　大地 温真
3位　菅原 清虎
　　半田 瑛都

男子ソフトテニス部

目標であった個人戦、団体戦上位独占とはいきませんでした。この悔しさをバネに日々の練習一つ一つに集中し、県大会出場に向けて頑張っていきます。

部　長　平　悠生

女子ソフトテニス部

団体戦は優勝、個人戦は３ペアが入賞することができました。良い結果が出たものの、全体でも個人でも課題が出た試合となりました。今後の大会に向けて練習を頑張っていきます。

部　長　梅津　由

新人大会　健闘を

陸上競技部

今回の新人戦では、多くの選手が優勝、入賞することができました。また、競技面だけでなく挨拶や返事などの礼儀作法、学校生活面でもさらに成長できるようにしていきたいと思います。

部　長　花輪　光希

ホッケー部

新チームとなり初めて臨んだ大会でした。少ない人数の中、協力し合い、楽しいプレーができました。今回見つかった課題を改善し、今後につなげられるように頑張ります。

部　長　安藤　仁菜

女子バドミントン部

新人戦では、一人一人が緊張感を持ち、全力でプレーすることができました。今回の試合を通して見つかった課題を改善し、今後の練習や大会に生かせるようにしたいです。

部　長　遠藤 璃姫奈

男子バドミントン部

今回の新人戦は、全員が今まで練習してきた成果を発揮できました。しかし、県大会ではレベルの差が大きかったように感じました。その差が少しでも縮まるように練習に励んでいきます。

部　長　横山　愛碧

柔道部

新チームで臨んだ大会。団体は南ブロック２回戦敗退という悔しい結果でした。個人では、一瞬の気の緩みで負けてしまいました。全国３位の先輩の背中を追いかけ、練習に励みます。

部　長　坂野　颯人

男子バレーボール部

３年生が引退して、初めての大会。そんな中、不安や緊張がありながらも２位で終えることができました。次の地区大会では、優勝できるように日々の練習に力を入れていきたいです。

部　長　渡部 桜士朗

女子バレーボール部

私たちは、苦しいときでも諦めず、ねばり強くプレーをして、優勝することができました。今後は、新人戦で課題となったところを改善し、もっとよいプレーができるように頑張ります。

部　長　森谷　遥花

サッカー部

新人戦では、１勝もできませんでしたが、個人の課題を見つけられたとともにとても良い経験になりました。今回の経験を活かして、来年の新人戦では優勝できるように頑張ります。

代　表　小池　勇輝

吹奏楽部

９月に第８回定期演奏会が行われました。部員全員で音楽を奏で、聞いているお客様に高中サウンドを響かせることができました。一人一人が一生懸命演奏できてよかったです。

部　長　菅野　華虹

柔道女子
- 1位　48kg級 小黒 悠衣【南B出場】
- 2位　44kg級 市川 優結【南B出場】

卓球男子
- 1位　髙橋 一平【南B出場】
- 3位　久米 伊織【南B出場】
- 山口 大翔【南B出場】

卓球女子
- 2位　山口 瑞稀【南B出場】
- 3位　菅野 天虹【南B出場】
- 清水 愛【南B出場】
- 大竹 琴心【南B出場】
- 5位

陸上男子
- 1位　一年100M 遠藤 大成
- 二年100M 小沼 怜門
- 200M 一條 悠輔
- 400M 佐藤 蓮生
- 1500M 平 龍将
- 3000M 平 龍将
- 4×100Mリレー 高畠A 一條 悠輔・佐藤 蓮生 樋口 慈・小沼 怜門
- 砲丸投 花輪 光希
- 二年100M 一條 悠輔
- 2位　400M 樋口 慈
- 3000M 我妻 尚哉
- 110Mハードル 小沼 怜門
- 砲丸投 大浦 樹々
- 3位　1500M 我妻 尚哉
- 4位　二年100M 樋口 慈
- 5位　800M 四柳 仁清
- 走高跳 中川 力賢
- 6位　800M 渡部 将
- 3000M 加藤 楓大

ダブルス
- 1位　竹田 颯也・横山 愛碧【統一大会出場】
- 2位　鈴木昭太朗・青野 圭吾
- 3位　近野 昊希・渡部 湊介

バドミントン女子

シングルス
- 1位　今井 楓姫【統一大会出場】
- 2位　鈴木 珠莉亜
- 3位　渡部 小夏
- 我妻 実和

ダブルス
- 1位　二宮 そら・遠藤 彩礼【統一大会出場】
- 2位　高橋 聖奈・遠藤 美菜
- 3位　髙梨 恋愛・渡部 羽泉

山形県中学校新人体育大会 南ブロック大会

【団体】
- 2位　バスケットボール男子
- 3位　野球
- 卓球女子【決勝大会出場】

【個人】

柔道男子
- 2位　50kg級 大浦 旬朔【決勝大会出場】
- 3位　55kg級 板垣 宙伸【決勝大会出場】

柔道女子
- 2位　48kg級 小黒 悠衣【決勝大会出場】

山形県中学校新人体育大会 決勝大会

柔道男子
- 2位　50kg級 大浦 旬朔
- 55kg級 板垣 宙伸

WAKU WAKU WORK

2学年

十月二十三日、二十四日に、置賜総合支庁・高畠町商工観光課から企画していただいた職業体験学習「ワクワクワーク」に参加しました。この二日間で、県内外で活躍なさっている方々の職業講話と置賜近隣の三十一の事業所の方にご協力をいただき、生徒一人四業種の体験を行いました。実際に重機の操縦やマネキンのヘアアレンジなどを体験し、サービスを提供する側の苦労や利用者への思い、自然環境への配慮等を学ぶことができました。一人一人が将来の生き方を考えるよいきっかけになりました。ご協力くださった事業所のみなさん、ありがとうございました。

かがやき１・２年生

米沢養護学校見学&電車利用学習

進路選択肢の１つである米沢養護学校高等部普通科で、「作業学習」「職業」という科目を見学しました。廊下には売り上げの目標額が掲示され、将来「働く」ことを見据えた学習を行っていました。専用の器具を使った石けんやバッグの製作、コーヒー豆の焙煎などを黙々と行う先輩の姿がありました。帰りは、自分たちの力で電車を利用し、車内やホーム、駅の中でのマナーを学習しました。

3学年

修学旅行

修学旅行実行委員長　渋谷 明香莉

私たちは、修学旅行のスローガンを「一期一会」とし、一生に一度限りの出会いを大切にしようと考えました。三年ぶりとなる関東方面への旅行は、計画の段階から心をワクワクさせました。

小学校で行けなかった日光東照宮などを訪れたクラス別研修、首都圏の文化や歴史を学ぶテーマ別研修など、忘れられない三日間となりました。

途中、体調を崩すこともなく、笑顔で終えることができました。

1学年

高畠探究プロジェクト

亀岡文殊

高畠熱中小学校

商工会

道の駅たかはた

学級ごとにテーマを設定して、探究活動に取り組みました。調べ学習やフィールドワークを通して高畠町への理解を深めたり、課題解決能力を育てたりすることをねらいとして学習を進めてきました。12月５日には町長様、副町長様、教育長様をはじめ、お世話になった事業所の皆様、高畠高校生、保護者の皆様をお招きしての発表会を開催し、自分たちのまなびをプレゼンテーションしました。

PTA 教育講演会

三年三組　佐藤　潤弥

今回の講演は、すごくこれからの過ごし方を変えるようなたくさんのことを学べました。自分は今、将来の夢が定まっていないのですが、「警察」という職も小さい頃から興味を持っていました。お聞きした実体験のお話はとても勉強になりました。「本当にしたいこと」を自分は言えないと思います。まだ「マイナス」な考えを持っていて、自信がないからだと思いました。「覚悟を決めて生きる・一歩踏み出す勇気・後悔しないように人生を生きる」たった十五年しかまだ生きていないけど、本当にそう思います。「時間は有限」後悔しないためには、大事・大切なことを先にして、自分を認めて自信をつけていけたらと思います。納得のいくまで続ける、やりたいことを大事に進んでいけるように頑張りたいです。

二年四組　佐藤　星来

今回の講演では三つにテーマを分けてお話をしていただき、とても分かりやすかったです。自分は小学校三、四年生まで内気な性格でいましたが、祖父に勧められ、習い事を始めました。そこから「人と接することは楽しいことかもしれない」と考えるようになり、クラスの友達にも話しかけるようになりました。そうしたら自分と気が合う人や同じ趣味の人が見つかり、今では大切な友達となりました。「もし、あそこで一歩踏み出さなかったら…」ということを考えると、正解だったなと思いました。そして、その友達が生きているうちに大切にしてあげたいなと思いました。今あるこの有限の時間を大切に使い、変化を恐れず、一歩を踏み出していきます。そして、将来の夢に向かって進んでいきたいと感じました。

育成研修部長　加藤　公亮

元山形県警察官で俳優の田中杏樹さんをお迎えした教育講演会は、米沢市出身おしょうしな観光大使である田中さんの地域愛に溢れた講演会となりました。「生きる糧は交番で学んだ！夢を叶えるために」と題し、生まれながらの正義感から警察官を目指し猛勉強したこと、厳しかった警察学校、交番勤務での経験、一度しかない人生を後悔したくないとの思いから転身した俳優への道。小さいころからの夢を叶えようと努力してきた田中さんの生き方が子供たちに感動を与えてくれました。

文化部紹介

美術部

部長　森谷　桜迦

私たち美術部は、自分たちが表現したいことを大切にして描いたり作ったりなどの制作を行ってきました。人数が多いですが、それを利点にほかの人の技術を真似するなどして画力とともに協調性も高まっていると感じた一年でした。自由に活動でき、にぎやかで活発な部活だからこそお互いを高められたと思います。ただ、他学年での交流が少ないと感じた部分もあったので、来年は他学年での交流を増やし、美術部全体での制作活動に挑戦していきたいです。

総合文化部

部長　片桐　麗花

私たち総合文化部は、地域のため、学校のため、そして自分たちのために活動をしています。屋代地区の祭りに使うランタンを作ったり毎年学校の花壇に花植えをしたりしています。花の配置計画から花植えや草とりまで農業生産部と一緒に活動しています。他にもアクリルタワシを製作して水屋に配置したり、森谷先生を講師にクリスマスリース作りを行ったりしました。どれも楽しい活動です。

来年も地域のため、学校のため、自分たちのために、様々な活動を行っていきたいです。

農業生産部

部長　原田　昊明

私たち農業生産部は、冬から計画を立て、畑で野菜を作り、自分たちで家に持ち帰る他、先生方に買っていただいたり、給食に出していただいたりしました。田んぼでは、地域の方々にご協力いただき、田植え体験をさせていただきました。稲刈り体験は、雨が続き中止となってしまい残念でした。しかし、田植え体験などは、地域の方々のご協力がないとできないので、本当に感謝しています。来年も楽しい部活を目指したいです。

編集後記

広報誌二十三号も無事発行することができました。原稿作成、写真の準備、編集作業に携わっていただきました関係者の皆さま、ご協力感謝いたします。そして、主役の生徒の皆さんありがとうございました。

行動制限のある生活から、ようやく普段の生活に近づき、学校行事や各大会が行われました。学校でしか見せない真剣な表情や、楽しそうに笑う姿を、この広報誌を通して目にしていただけたと思います。さらなる生徒たちの活躍を楽しみに、次回の広報誌もお待ちいただければ幸いです。

編集委員（二学年）

大浦エリカ　平井　健二
小沼あゆみ　菅井　忠彦
佐藤めぐみ　樋口　勇一
五十嵐澄人　我妻美奈子
小玉　文子　星　孝一郎
山田　大輔　吉田　千夏
富樫　真人